

# スマートシティ実装化支援事業について

---

国土交通省 都市局

都市政策課 デジタル情報活用推進室

令和6年3月18日

# 国土交通省スマートシティ実装化支援事業

全国の牽引役となるモデルプロジェクトとして、地域のスマートシティ実行計画に基づき、データや新技術を活用した先進的な都市サービスの実装に向けて取り組む実証事業を支援。

スマートシティ実装化支援事業  
補助 2.5 億円 (R6当初)

## スマートシティのイメージ



### 都市空間



### 都市におけるサービスの展開



### サイバー空間（3D都市モデル）



## 補助要件等

	通常タイプ	都市サービス実装タイプ
補助対象	実行計画に基づく先端技術等を活用した先進的な都市サービスの実装化に向けて取り組む実証事業	実行計画に基づく先端技術等を活用した先進的な都市サービスについて <b>早期に実証からまちへの実装までを一体的に実施する事業</b>
支援条件	①民間事業者等・地方公共団体を構成員に含むコンソーシアムであること ②都市・地域のビジョン、取組内容等を記載した「スマートシティ実行計画」を策定、コンソーシアムがHPに公開していること	①② 左と同じ ③ <b>早期に実証からまちへの実装までを一体的に実施する事業であること（2026年度までに実装すること）</b> ④ <b>スマートシティ実装計画（複数年にわたる計画も可）を定めること</b>
補助率	定額補助（上限2,000万円） ※実行計画に基づく取組のコンソーシアム負担額が国の補助額を上回ること	定額補助（ <b>上限5,000万円</b> ） ※実行計画に基づく取組のコンソーシアム負担額が国の補助額を上回ること

# 都市局のスマートシティ政策についての意見と提案（概要）

## 1. スマートサービスによるWell-beingの改善方策検討ワーキンググループ

スマートサービスを住民生活のWell-beingの改善に結びつけるための課題等について検討する

カテゴリ	氏名（敬称略）	所属
委員	村木 美貴（座長）	千葉大学大学院工学研究院
	饗庭 伸	東京都立大学都市環境学部
	秋山 祐樹	東京都市大学建築都市デザイン学部
	中道 久美子	東京工業大学環境・社会理工学院
	陰山 大輔	加古川市役所 企画部 政策企画課
	鈴木 昌幸	岡崎市役所 総合政策部 デジタル推進課
	重松 眞理子	一般社団法人 不動産協会
オブザーバー	松村 秀弦	独立行政法人 都市再生機構 都市再生部事業企画室
	日置 潤一	内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局
	各課 課長補佐	国土交通省 都市局

## 2. 議論のとりまとめ

### 論点1 都市局としてのスマートシティ政策の方向性について

- （1）都市政策や都市計画の実現等、スマートシティ（スマートサービス）に取り組むストーリーを明確にするとともに、都市のビジョンの実現のために「真に」必要なスマートサービスを目指すこと
- （2）Well-being指標等の各種調査やセンシングデータ等を活用して、都市のビジョンや課題の明確化や利用者の認知度等の把握とともに、取組の見直しを図る仕組みを構築すること
- （3）様々な価値観を持つ利用者の目線を踏まえた、わかりやすく成果につながるスマートサービスの実現を目指すこと

### 論点2 スマートサービス実装のゴール設定について

- （1）持続的な取組のため、サービスのマネタイズ、または、市民からの理解・共感を得ることを実装のゴールとして考えること  
また、短期的な視点とともに長期的視点で効果がでるような取組もあるため留意が必要
- （2）ランニングコスト・市民の定着度等も含め、検証可能なゴール設定とすべきではないか
- （3）官民連携プラットフォームの活用を通じて定性的・定量的に効果検証を行うこと

### 論点3 スマートサービスが自然と創発される仕組み

- （1）サービス導入後のデータ活用も含め、次の施策につながるサイクルを構築する等、自律的に発展するエコシステムを構築すること
- （2）理念やビジョンに共感し、積極的かつ長期的に参画する民間事業者とコンソーシアムを組成すること。  
自治体内部の体制についても、企画部門、都市計画部門、対象事業を運用する原課等が連携し、組織横断的な体制を構築すること
- （3）サービスの横展開だけでなく、導入に向けての仕組みの横展開を進めること。そのためにも、近隣地域と連携した導入や都市局による伴走や、官民連携プラットフォームの活用等を通じた、コンソーシアム間の情報共有や連携を強化すること

### 論点4 都市局のスマートシティ施策の改善に向けて

- （1）都市局として実現したいテーマを明確にし、それに沿った取組や都市局とコンソーシアムが構想・調査段階から協同する取組を推進できる仕組みとすること
- （2）サービス導入後のデータ活用も含め、先導的なプロジェクトを支援すること
- （3）コンソーシアム、特に自治体に対してデータの活用方法を助言するとともに、都市政策として必要なWell-beingを評価する手法のあり方を中長期的に検討すること

## 3. WGをふまえた都市局スマートシティ施策の改善

### (1)「スマートシティ実装化支援事業」における具体的な改善ポイント

現状	改善
<b>①重点的に支援する2つの類型</b>  ・「スマートシティ」の定義に沿った幅広い取組を支援（具体的なテーマ設定なし）  ・計画立案、実施等は自治体を含むコンソーシアムが実施	<b>テーマ実現</b> 好事例を広げていくため、明示するテーマの実現につながる取組  <b>協同実装</b> 国交省(都市局)とコンソーシアムが、構想・調査段階から協同しながら実装を目指す取組  ※明示するテーマの内容は別添1参照
<b>②審査の視点を具体化</b>  ・「適合性」「具体性」「実効性」「継続性」等の主に事業実施段階における審査  【例：実行計画の概要】 本実行計画の概要 →街の課題や街のビジョンに対して、どのような技術、データ連携等により、いつまでに何を行うか	○審査の視点を詳細かつ具体的にするとともに、導入後の効果検証等の新規項目も追加  ※申請様式のイメージは別添2参照  【例：実行計画の概要】 都市・まちづくりのビジョン →どのような都市、まちづくりを目指しているか  スマートシティ導入のストーリー →ビジョン実現に向けて具体的などのような課題・解決方法があるか  具体的な計画・取組 →課題解決に向けてどのような取組か、課題解決にどうつながるか 等  【例：実証事業の概要】 本格導入後の効果検証 →効果検証の時期や手法、項目、目標値等について、導入効果を定量・定性的に算出する具体的な計画等を策定しているか 等
<b>③効果検証・報告の実施</b>  ・実証実験等における実証結果を報告	○実証後、および本格導入後の「効果」を国へ報告するとともに、都市局が評価

### (2)都市におけるスマートサービスが自然と創発される仕組みづくり

<b>①スマートシティ実装化支援事業を担うコンソーシアムの役割明確化</b>  コンソーシアムのうち、特に地方自治体は都市政策・都市計画実現、あるいは市民に対する説明責任の観点から、スマートサービス実現に向けて責任をもって主導的な立場を担う
<b>②スマートシティ官民連携プラットフォームの役割拡大</b>  官民連携プラットフォーム等を活用し、国との連携他自治体との知見の共有のほか、効果検証や、事業で得たデータ・経験を応用した施策の検討等により、全国のスマートシティ施策を先導する
<b>③「デジタル情報活用推進コミッティ（仮）」の創設</b>  スマートシティのデジタルインフラの一つとしての「Project PLATEAU」による3D都市モデルの活用拡大も含め、個別プロジェクトに関する適切な助言等を行う組織を創設

# 都市局のスマートシティ施策の改善提案

## ■スマートシティ実装化支援事業の改善のポイント

### 現状

#### 1. 取組テーマの明示、都市局の伴走型支援の実施

- ・「スマートシティ」の定義に沿った**幅広い取組**を支援（具体的なテーマ設定なし）
- ・個別プロジェクトへの都市局の関与は事業費補助に伴う審査等の間接的なものであり、**計画立案、実施等は自治体を含むコンソーシアム**が実施



### 改善

- 次の2つの方向性に分け、それぞれのタイプに応じた支援を実施
  - ・**都市のビジョンに適合し、事前に明示する具体的なテーマを実現する**取組。（テーマ数や具体性・サービス例等は有識者委員会にて審議・決定）
  - ・都市局とコンソーシアムが、**構想・調査段階から協同しながら実装を目指す**取組
- 官民連携PF**等を通じ、自治体同士、国への事前相談・情報共有等、**官民のつながりを強化**

#### 2. 審査の視点を具体化

- ・「適合性」「具体性」「実効性」「継続性」等の主に**事業実施段階における審査**



- 主に2つの視点での審査を追加し、重視
  - 事前：[ストーリー・デザイン]**  
⇒都市のビジョンや利用者のニーズとの整合
  - 事後：[効果検証]**  
⇒導入効果を定量・定性的に算出する計画等に関する言及

#### 3. 効果検証・報告の実施

- ・実証実験等における**実証結果**を報告



- 実証後、および**本格導入後の「効果」を国へ報告するとともに、都市局が評価**

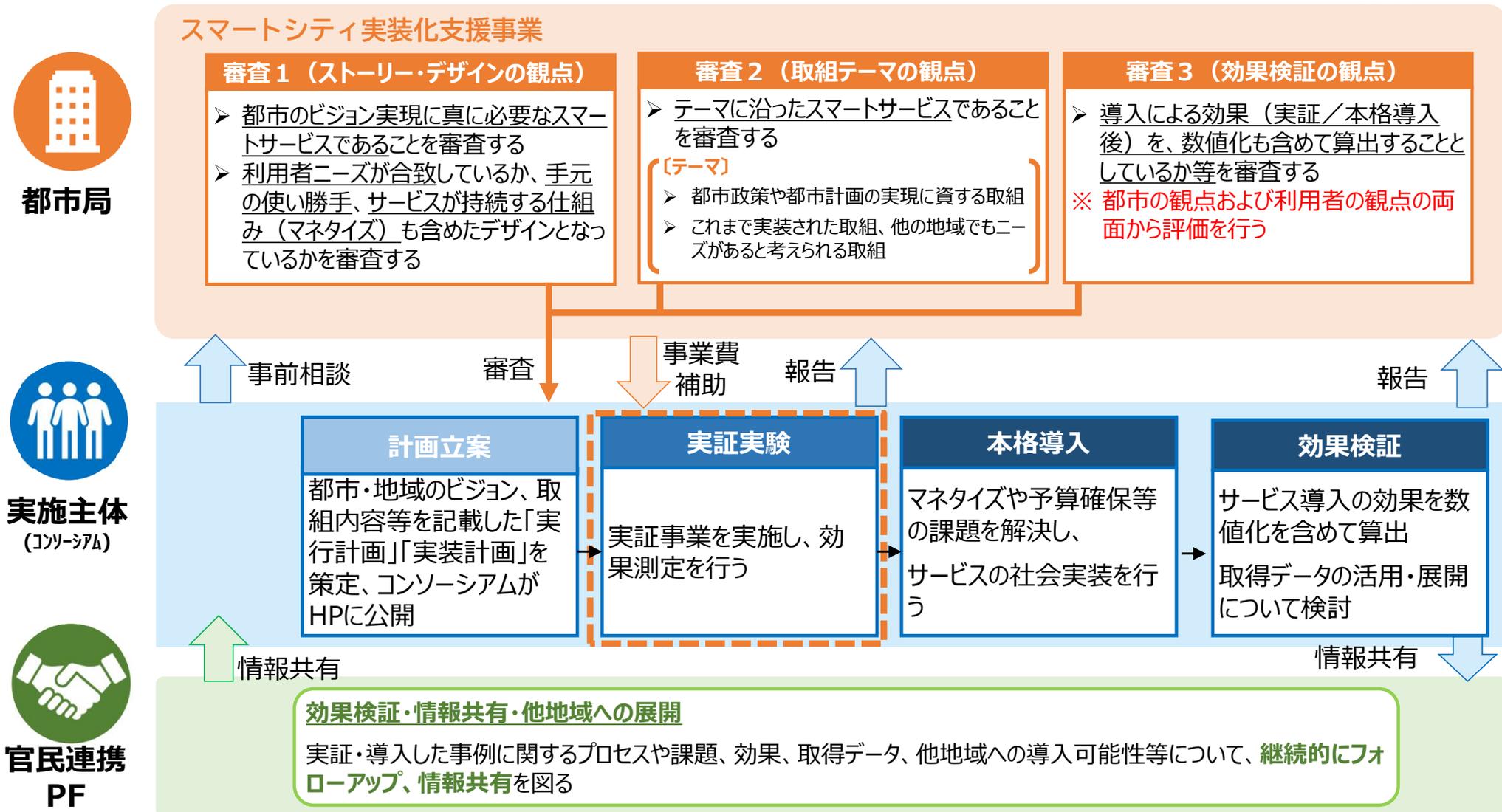
# 都市局のスマートシティ施策の改善提案

## ■「テーマ実現」に向けた仕組み

「スマートシティ実装化支援事業」等で、都市政策や都市計画の実現に資するスマートサービスや好事例の拡大、次につながる取得データの活用を支援

※支援期間は最大2年程度（審査/採択・報告は毎年度）を想定

 支援範囲



# 都市局が明示するテーマについて

毎年度、本委員会で方向性やレベル感、数等を審議する

## R6年度実装化支援事業の重点テーマ

### (1) 都市空間に暮らす住民の生命を守るとともに、安心・安全を提供する

#### ○防災の高度化

自然災害の激甚化および人口減少に伴う自治体職員の減少に対応し、防災の高度化に資する事業  
サービス例 ⇒ AI水位予測、河川情報の広域連携、防災ドローン

#### ○安心・安全の提供

地域の住民に安心・安全を提供するため、デジタル技術を活用している事業  
サービス例 ⇒ 見守りサービス、スマートメーター

### (2) 都市のビジョンに従って都市空間をデザインし、かつドライブする

#### ○データ活用による都市計画の高度化、立地適正化計画への反映と市民参加

各種センサーから取得したデータを都市計画の高度化のために活用するとともに、行政への市民参加を促進する事業  
サービス例 ⇒ 人流データ活用した行政高度化、都市再生と一体となったDX推進

#### ○都市空間・インフラ維持管理手法の高度化

人手不足・2024年問題等の社会課題に対応し、都市空間の管理手法の高度化等に寄与する事業  
サービス例 ⇒ 除雪判断の高度化、デジタルツイン活用

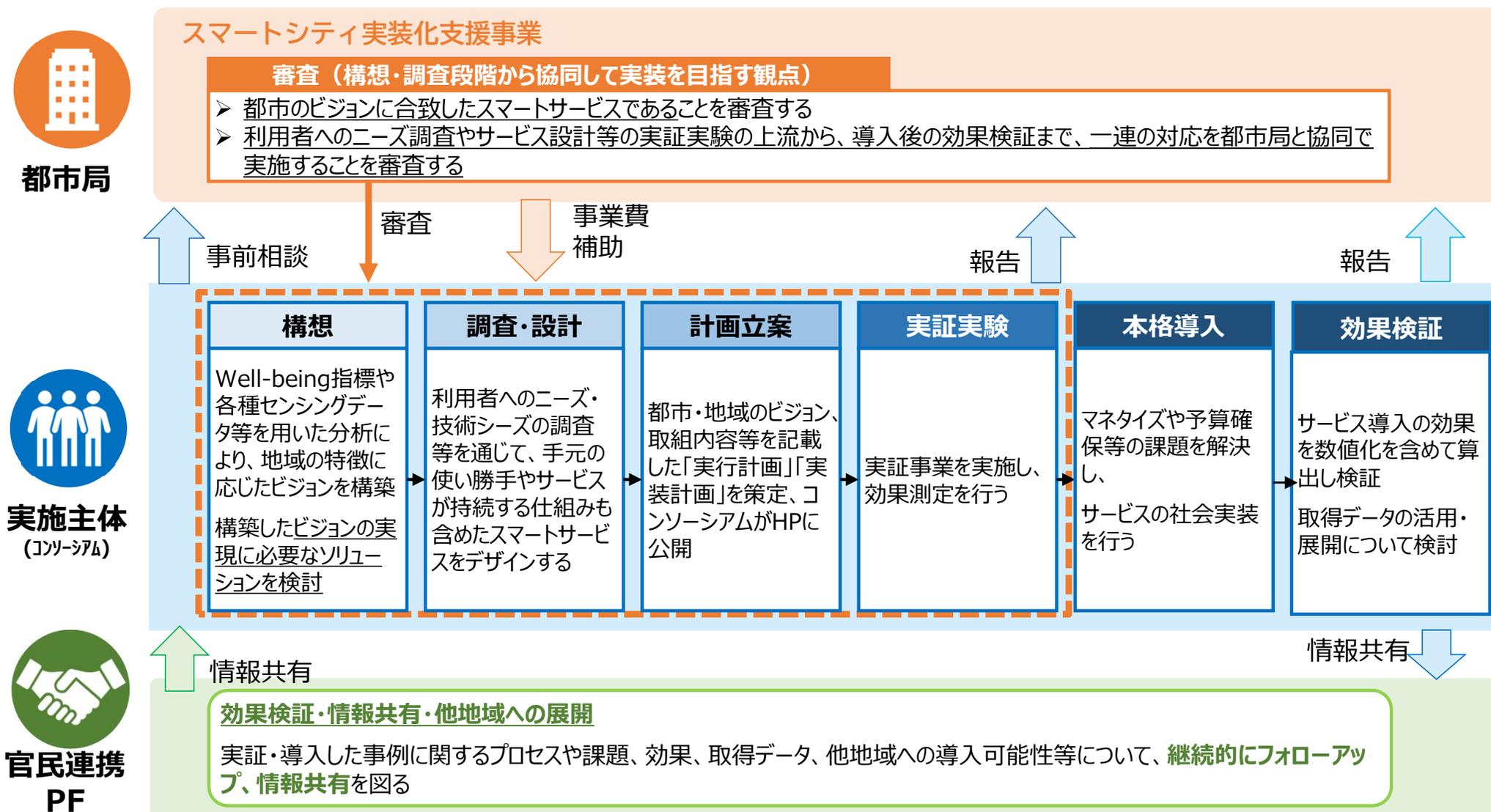
# 都市局のスマートシティ施策の改善提案

## ■「協同実装」に向けた仕組み

「スマートシティ実装化支援事業」等で、実証実験の上流（構想もしくは調査・設計段階）から一貫して伴走型支援

※支援期間は最大3年程度（審査/採択・報告は毎年度）を想定

 支援範囲



# スマートシティ実装化支援事業 申請様式の方角性

---

申請様式の方角性 その1

# 「スマートシティ実行計画の概要」様式

# 〇〇地区スマートシティ実行計画概要

本資料は申請様式の方向性を示すものであり、実際の申請様式と異なる場合がある

## 都市・まちづくりのビジョン

→どのような都市、まちづくりを目指しているのかを具体的に記載する。

- (記載例) ○\* \*市では、県内最大の人口規模を持つ\* \*圏域有数の産業都市としてさらなる**中核的役割を果たし、圏域の活力を牽引し続けていく都市**を目指している。  
 ○これに相応しい駅前空間の実現に向けて、現在、「\* \*駅・\* \*駅周辺整備事業」や「国道\*号 \* \* \* \*交通ターミナル整備事業」を推進する。  
 ○これらの再開発を契機に、駅前空間などの**中心市街地に人が集まり、賑わいを創出**することで、都市の魅力・暮らしの質の向上、交流人口の増加、防災機能の向上等とともに、**企業の集積等**を進めることで、圏域の活力を牽引し続ける都市を実現する。

## スマートシティ導入のストーリー

→都市・まちづくりのビジョン実現に向けてどのような課題・解決方法があるのかを具体的に記載する。

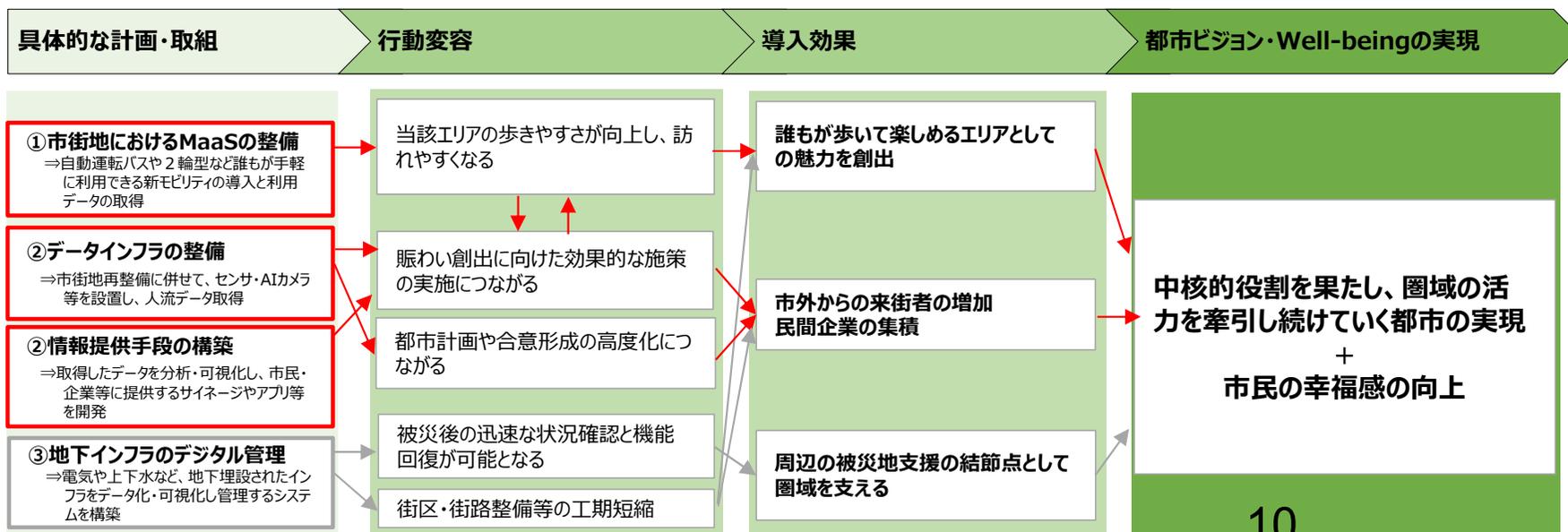
- (記載例) ①再整備される中心市街地（駅間）は約1.5kmの距離があるため、**誰もが歩いて楽しめるエリアとして魅力を創出**するためには、**スマート技術を活用した手軽なモビリティの導入等**により、この抵抗感を軽減する必要がある。  
 ②人口減少・高齢化の進行といった社会変動の中でも、**市外からの来街者が集まる都市**とするため、**様々なデータの取得とその分析・活用による効果的な仕組み**が必要である。  
 ③南海トラフ地震を想定した場合、被災後も**いち早く機能を回復し、周辺を支える都市**であるために、再整備に合わせて**インフラのデジタル管理**が必要である。

## 具体的な計画・取組

→課題解決に向けてどのような計画・取組を進めるのか、課題解決にどうつながるのか、等について具体的に記載する。

(記載例)

今回提案するサービスを実現する



申請様式の方角性 その2

# 「今回提案事業の概要」様式

# 提案事業概要 [実現するサービス]

国

本資料は申請様式の方向性を示すものであり、実際の申請様式と異なる場合がある

事業名:\*\*\*\*スマートシティ実証事業

●●県●●市

●●地区

## ■都市・まちづくりのビジョン

⇒どのような都市、まちづくりを目指しているのかを具体的に説明する。

## ■スマートシティ導入のストーリー

⇒都市・まちづくりのビジョン実現に向けてどのような課題・解決方法があるのかを具体的に説明する。

位置図

## ■導入するスマートシティ(サービス)の概要 ※R6実証事業に係るもの

キーコンセプト ⇒導入するサービスで実現したいことを端的に記載する。

⇒導入するサービスの目的や内容を端的に記載する。  
⇒近隣地域との連携があれば連携内容を記載する。

キービジュアル

※権利関係の問題がないもの

## ■スマートシティ(サービス)のデザイン

⇒アーキテクチャ等で全体のサービスデザインを説明する。  
⇒データやインフラ等を具体的に記載するとともに、特に利用者の手元でのデザインを説明する。  
⇒近隣地域との連携があれば連携内容を記載する。  
⇒PLATEAUを活用している場合は連携内容を記載する。

## ■事業実施体制

●●市スマートシティ推進コンソーシアム

	〇〇(株)
◎	〇〇市役所〇〇部〇〇課
	(株)〇〇
	〇〇(株)
	〇〇県庁〇〇部〇〇課
○	(一社)〇〇〇(都市再生推進法人)
	(一社)〇〇〇
	(医)〇〇
	〇〇(株)

## ■費用負担の考え方

⇒費用負担や短期・長期のマネタイズ  
の考え方等を具体的に説明する。

## ■自治体窓口

担当者:●●●●

Tel: 000-000-0000

Mail:

## ■想定する利用者とそのニーズ

⇒導入するサービスを利用する者の想定とその設定根拠、ニーズとの整合について説明する。

## ■本格導入後の効果検証

⇒効果検証の時期や方法、項目、目標値について、具体的に説明する。

# 提案事業概要 [R6年度実証の内容]

国

本資料は申請様式の方角性を示すものであり、  
実際の申請様式と異なる場合がある

事業名:\*\*\*\*スマートシティ実証事業

●●県●●市

●●地区

## ■実証の概要

実証内容	⇒実証実験で確認したい事項を記載する。(住民ニーズ・社会実装性・安全性・収益性・運営体制・将来性等)
実証の方法	
実証後の 検証・報告事項	

## ■実証内容の必要性・妥当性

⇒次の事項を中心に、説明する。

- ・サービス導入に向けて、この実証が必要である理由。
- ・これまでの取組・得られた知見との整合やデータの再利用が図られていること。
- ・官民連携PFの活用など、必要な事前調査・準備を行っていること。

## ■R6年度実証事業のスケジュール

⇒月を明記したフローチャートで説明する。

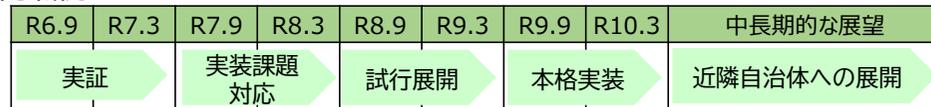
<記載例>



## ■本格導入までのスケジュールおよび中長期的な展望

⇒年を明記したフローチャートで説明する。

<記載例>



## ■R6年度実証に必要な経費

- ⇒実証事業全体の経費と費用分担を具体的に説明する。
- ⇒実証事業実施に必要な補助額とその根拠を説明する。

キービジュアル

キービジュアル

キービジュアル

キービジュアル